



TITLE:

京大広報 No. 569

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 569. 京大広報 2002, 569: 1277-1292

ISSUE DATE:

2002-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196535>

RIGHT:



京大広報

No. 569

2002. 6

目次

大学の動き

部局長の交替.....1278

平成 14 年度外国人留学生歓迎パーティ..... 1278

国立大学の法人化に関する説明会の開催.....1279

新事務局棟披露式.....1280

京都大学留学生ラウンジ開所式.....1281

広報センターの設置.....1282

広報誌「紅萌（くれなゐもゆる）」及び

「楽友（Raku-Yu）」を創刊.....1282

京都大学・関西フォーラム

新時代の産学官連携の構築 の報告.....1283

部局の動き

学術情報メディアセンターの設置.....1284

随想

歴史小説さまざま 名誉教授 山口 裕.....1286

洛書

サクラサク 潮見佳男.....1287

訃報1288

日誌1289

公開講座

工学部公開講座

「人と環境にやさしい工学をめざして」.....1289

数理解析研究所数学入門公開講座.....1290

お知らせ

「総合体育館附設プール」の夏季利用..... 1290

「白馬山の家」の夏季開設..... 1291

「白浜海の家」の利用..... 1291

シネマCDコンサート.....1292

編集後記1292



新事務局棟 - 関連記事 本文 1280 ページ -



京都大学広報委員会

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

大学の動き

部局長の交替

エネルギー科学研究科長

笠原三紀夫エネルギー科学研究科教授（エネルギー社会環境科学専攻エネルギー社会環境学講座（エネルギー環境学））が、伊藤靖彦エネルギー科学研究科長の任期満了に伴う後任として、



5月11日付けで任命された。任期は平成16年5月10日まで。

平成14年度外国人留学生歓迎パーティ

平成14年度入学外国人留学生歓迎パーティが4月26日（金）午後6時より、京大会館において長尾真総長主催のもとに開催された。

外国人留学生、総長及び部局長、指導教官並びに来賓として京都府、京都市等の国際交流関係者、約200名が出席して盛大に行われた。

パーティは、長尾総長の歓迎挨拶、新入留学生を代表して、予備教育を受講中の ANNEMIE VAN THILLO さん（ベルギー）からの日本語及び英語によるスピーチ、塩田浩平総長補佐の乾杯ではじまり、途中、京都大学体育会居合道部副将（伯耆流）林 由華さん（武段）が演武し、歓迎ムードを盛り上げた。

なお、5月1日現在の本学の国（地域）別外国人留学生数は次表のとおりである。



国（地域）別外国人留学生数

地域	区分 国名等	学 部		大 学 院		研究 生等	計
		学生	聴講生	修士課程	博士課程	聴講生	
ア ジ ア 州 (25)	バレーン					1	1
	バングラディシュ			6	10		16
	カンボディア	3		4	1	1	9
	中 国	81	1	112	125	2	122
	香 港				1	1	2
	イ ン ド				1	3	4
	インドネシア	1	1	13	24	3	42
	イ ラ ン			1	5	3	9
	イスラエル			3	1	2	6
	ヨ ル ダ ン				1	1	2
	韓 国	17	8	43	115	3	37
	ラ オ ス			1	1	2	4
	レバノン			1			1
	マレーシア	1		3	5	3	12
	モンゴル	6		3	2		11
	ミャンマー			2		1	3
	ネパール			2	3		5
	パキスタン				2	1	3
	フィリピン	3		1	6	7	17
	シンガポール	5		2	2		9
	スリランカ				2		2
	台 湾	1	1	23	25	17	67
	タ イ	6		16	22	7	51
	ト ル コ	1		2	4	4	11
	ベ ト ナ ム	4		2	7	4	17

地域	区分 国名等	学 部		大 学 院			研究 生等	計
		学生	聴講生	修士課程	博士課程	聴講生		
大洋州(2)	オーストラリア	2	1	3	1		2	9
	ニュージーランド	2		3			1	6
アフリカ州(13)	アルジェリア			1	1			2
	コンゴ						1	1
	コートジボアール				1			1
	エジプト				2		1	3
	エチオピア				2			2
	ガーナ						1	1
	ケニア				2			2
	モロッコ	1			3			4
	ナイジェリア			1				1
	南アフリカ				1			1
	スーダン				1		1	2
	チュニジア				1			1
	タンザニア				7			7
ヨーロッパ(20)	オーストリア			1	1		1	3
	ベルギー				2		2	4
	ブルガリア	1					3	4
	チェッコ				1		1	2
	フランス		7	1	3		5	16
	ドイツ		5		3	2	1	11
	ギリシャ			1	1			2
	ハンガリー	1		1	3		1	6
	アイスランド		1					1
	イタリア				2			2
	オランダ						2	2

地域	区分 国名等	学 部		大 学 院			研究 生等	計
		学生	聴講生	修士課程	博士課程	聴講生		
ヨーロッパ(20)	ノルウェー				1			1
	ポーランド				3		1	4
	ポルトガル			2	1			3
	ルーマニア	2			3		1	6
	スロバキア				1		1	2
	スペイン			2	2		2	6
	スウェーデン		4				1	5
	スイス		3		1		2	6
	連合王国				2		4	6
	ベラルーシ			1			1	2
N.S. 諸(3)	ロシア連邦	1		1	3		4	9
	ウクライナ				1			1
	カナダ		4		3		2	9
北アメリカ州(6)	コスタリカ				1			1
	ホンジュラス			1			1	2
	メキシコ				2			2
	パナマ						1	1
	アメリカ合衆国		2	5	6		14	27
南アメリカ州(6)	アルゼンチン			1	1		1	3
	ブラジル			4	9		11	24
	コロンビア	1		2	1			4
	パラグアイ						1	1
	ペルー				1		2	3
	ヴェネズエラ				3			3
計 (75)		140	38	271	448	7	293	1,197

総数1,197名中、留学ビザ留学生は1,175名

国立大学の法人化に関する説明会の開催

5月2日(木)12時30分から、附属図書館3階A V



ホールにおいて、教職員及び学生を対象として国立大学の法人化に関する学内説明会が開催された。

説明会は、定員を上回る約200名の参加があり、また同時中継を行ったサテライト会場（農学部総合館大講義室、学術情報メディアセンターマルチメディア講義室、エネルギー理工学研究所大会議室、原子炉実験所事務棟会議室、霊長類研究所研究棟本館大集会室の5ヵ所）にも200名を超える参加があったほか、当日インターネット放送も行われた。

最初に、長尾 真総長より挨拶及び国立大学の法

人化に関するこれまでの検討経過の概要について説明があった。

引き続いて、森本 滋総長補佐が文部科学省の「国立大学等の独立行政法人化に関する調査検討会

議」がとりまとめた最終報告の概要と京都大学の課題（ホームページ：<http://www.adm.kyoto-u.ac.jp/GAD/020502siryou.pdf>）をプレゼンテーション方式でわかりやすく説明した後、質疑応答が行われた。

新事務局棟披露式

京都大学では、平成11年8月に着工した新事務局棟が本年3月に完成し、事務局各部の移転が完了したことから、5月14日（火）に新事務局棟披露式を実施した。披露式では、長尾 真総長の挨拶、細田重好施設部長の工事報告、小田島 章文部科学省文教施設部長の祝辞（荻原久和同部技術参事官代読）、

工事関係者への感謝状の贈呈の後、テープカットが行われた。

披露式終了後、参加した各部局長、教職員、工事関係者約200名は、4階の総長室、5階の特別会議室、1階の広報センター等を見学した。

5階

総務部（人事課）
研究協力部（研究協力課，国際交流課）
大会議室，特別会議室

4階

総長，副学長，総長補佐
事務局長，企画調整官
総務部（総務課，企画課）
法人化準備室
大学情報収集・分析センター

3階

施設部（企画課，建築課，機械設備課，
電気情報設備課）
共通会議室2，施設部入札室

2階

経理部（主計課，契約課）
情報化推進部（企画管理課）
共通会議室1，経理部入札室

1階

総務部（総務課文書管理室）
経理部（経理課，管財課）
広報センター
情報化推進部（大学情報課）
記者室



京都大学留学生ラウンジ開所式

京都大学では、このほどキャンパス内に留学生ラウンジを設置し、その開所式を行った。

「きずな」と名付けられた留学生ラウンジは、大正時代に建設された重厚な赤レンガの外観を生かしながら、室内は現代的なコンセプトで留学生がゆったりとくつろげるように改修された施設で、リーディ



ングルーム、サロン、オーディオルームが配置されている。

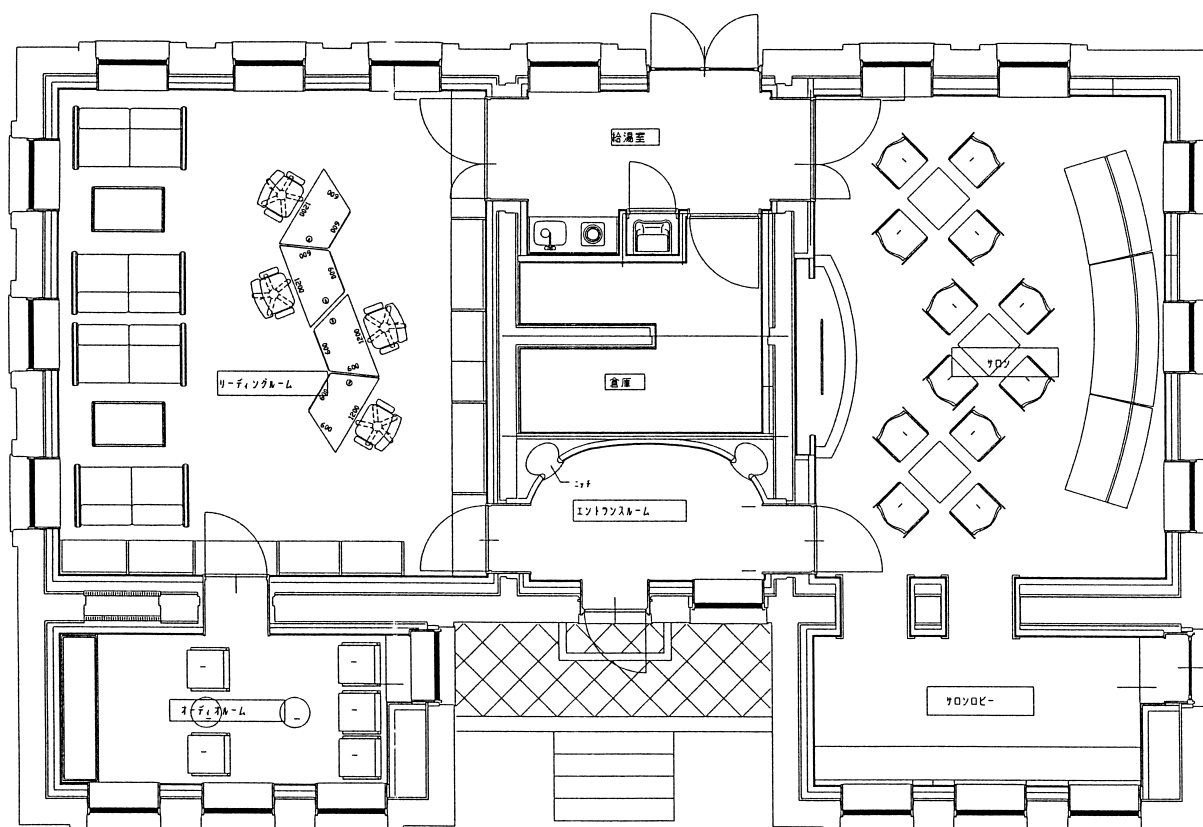
京都大学には、全学の留学生対象としては今までこのようなスペースはなかったが、このラウンジの開設により、留学生同士、日本人学生との交流の活発化が期待される。

4月17日（水）に行われた開所式は国際交流関係団体、自治体や学内関係者100名余りが出席して行われ、本間政雄事務局長の施設紹介、長尾 真総長の式辞の後、文部科学省高等教育局留学生課田中充留学生教育企画室長から祝辞が述べられた。その後、長尾総長はじめ、留学生代表の朴俊奎さん（農学研究科）たちによるテーブルカットに続き、出席者の施設見学が行われた。

開館時間及び開館日

（１）開館時間 9:00～18:00

（２）開館日 土日及び祝日、年末年始を除く平日



広報センターの設置

京都大学では、大学情報発信基地となる広報センターを新事務局棟 1 階及び同大学正門横の 2 カ所にこのほど設置した。

新事務局棟 1 階の広報センターには、各種印刷物等の資料閲覧コーナー、インターネットによる情報検索コーナー、ビデオ視聴コーナーが設けられ、本学の管理運営状況や教育研究活動状況等の大学情報

全般が紹介されている。

一方、正門横の広報センターでは、資料コーナーが設けられ、概要、広報誌、各種行事案内パンフレット等が自由に持ち帰れるようになっている。

また今後は、各種情報を充実していくとともに、正門横の広報センターに情報検索・ビデオコーナーの設置を予定している。



正門横の広報センター



ビデオコーナーと資料閲覧コーナー

広報誌「紅萌（くれなゐもゆる）」及び「楽友（Raku-Yu）」を創刊

京都大学では、広く社会に情報を発信し、本学における教育・研究の現状や多様な活動等を国内外に知らせることを目的に、国内向け広報誌「紅萌（くれなゐもゆる）」と外国向け広報誌「楽友（Raku-Yu）」の創刊号を刊行した。

「紅萌」では、総長対談、卒業生の寄稿文、研究活動が掲載されるとともに、技術職員や学生の活動等が紹介されている。同広報誌は、国内の企業約 1,000 社をはじめ公立の図書館、国公立大学等に送付された。

一方、「楽友」には、総長巻頭文、研究活動、国際シンポジウム、外国人研究者の寄稿文、留学生インタビュー等が掲載されている。同広報誌は、在外

公館、学術協定締結校をはじめ在日大使館、公館等に送付された。また、両広報誌とも本学ホームページ（<http://www.adm.kyoto-u.ac.jp/Official/publish/>）でも見る事ができる。



京都大学・関西フォーラム - 新時代の産学官連携の構築 - の報告

新たな世紀を迎え、京都大学の誇る先端的・独創的な研究活動を広く社会に発信し、先端技術分野における新産業創出等を促進するため、新時代の産学官連携の構築に向けての積極的な取り組みや最新の研究活動等を紹介する京都大学・関西フォーラムを開催した。

同フォーラムは、5月15日（水）グランキューブ大阪（大阪国際会議場）に企業や地方自治体等からの参加をえて、長尾 真総長の「発展する京都大学」と題した講演を皮切りに、松重和美国国際融合創造センター長の「京都大学が取り組む産学融合」の講演が続き、「先端的・独創的な研究活動の紹介」として次の4分野から報告が行われた。

「企業法制の最近の展開」

法学研究科 教授・総長補佐 森本 滋

「微生物のユニークな機能の探索・開発と産業への利用」

農学研究科 教授 清水 昌

「ウェブの社会情報学的な利用 - 地理知識の抽出と教育利用」

情報学研究科 教授 上林 彌彦

「生体肝移植の展開と教育研究拠点形成」

医学部附属病院 病院長 田中 紘一

なお、当日、多くの在阪企業のトップ及び経済団体の役員関係者をはじめ自治体関係者のほか、沢田敏男元総長等京都大学関係者58名を含む367名の参加があった。



部局の動き

学術情報メディアセンターの設置

平成14年4月1日、大型計算機センターおよび総合情報メディアセンターが統合され、新たな研究部門が加わって学術情報メディアセンター（以下「センター」）が設立されました。

センターの建物は、吉田本部構内北東端にある旧大型計算機センター棟および吉田南構内テニスコート脇にある旧総合情報メディアセンター棟に分かれており、それぞれ学術情報メディアセンター北館、南館と呼ぶことになりました。また、桂キャンパスに計画されている「情報基盤センター（仮称）」を将来本センターの第三の建物として利用することも検討されています。

センターには以下の5研究部門があり、これらの部門の連携によって、(1)安全で利便性の高いネットワーク基盤、(2)高度なコンピューティング機能、に加え、これらの情報基盤を活用して情報メディアの高度利用を図る、(3)次世代情報教育・語学教育システム、(4)貴重な学術標本・資料のデジタル・アーカイブ化、の実現に向けた研究開発と学内外へのサービス提供を目指しています。

(1) ネットワーク研究部門

- (a) 高機能ネットワーク研究分野
- (b) セキュリティ研究分野

(2) コンピューティング研究部門

- (a) スーパーコンピューティング研究分野
- (b) メディアコンピューティング研究分野

(3) 教育支援システム研究部門

- (a) 情報教育研究分野
- (b) 語学教育研究分野

(4) デジタルコンテンツ研究部門

- (a) マルチメディア情報研究分野
- (b) 電子化・デジタルアーカイブ研究分野

(5) 連携研究部門

ネットワーク研究部門は、従来 KUINS 機構が行ってきた学術情報ネットワークの開発・運用を引き継ぎ、高度なネットワーク技術に加えセキュリティ面での研究開発も行っています。

旧大型計算機センターが行ってきました全国共同

利用サービスは、コンピューティング研究部門が継承しますが、同部門には新たにメディアコンピューティング研究分野が加わり、ネットワークコンピュータを用いたマルチメディア情報のリアルタイム処理などに関する研究開発、サービスも新たに行うことになっています。

教育支援システム研究部門は旧総合情報メディアセンターが行ってきた教育用計算機システムの管理・運用を継承しつつ、マルチメディア教材の開発およびインターネットを介し一般社会をも対象とした e-learning システムの実現に向けた研究開発を行います。

デジタルコンテンツ研究部門は従来のデータベースサービスをマルチメディア化するための研究開発および、大学の保有する膨大な学術標本・資料のデジタル化のためのシステム開発を目指しています。

第5の研究部門である連携研究部門は、学内他部局の教官を一定期間流動教官として受け入れ、センターの教官・技官との共同研究開発を行うことによって、センターの持つ優れたネットワーク、コンピューティング、情報メディア技術・システムが学内のすべての部局で広く活用されるようにするとともに、共同研究開発で得られた成果を基に各部局における研究教育活動の高度化を図ることを目指しています。

研究面から見た場合、本センターは、「情報ネットワーク社会と実世界のシームレスな統合」をその研究開発活動の指針として掲げており、これは次のような認識に基づいています。

21世紀における社会は、政治、経済、文化、教育、娯楽などあらゆる個人的、社会的活動の分野においてマルチメディア情報処理システムがその活動基盤を支えるようになっていわれています。しかし、インターネットに代表される情報ネットワークシステム上に作られた「情報ネットワーク社会」が急速に膨張することにより、それと我々生身の人間が生活する「実世界」との乖離が生じ、両者の狭間で様々

な深刻な社会問題が生じる危険性を指摘する声がよく聞かれるようになっていきます。

こうした問題を回避し、情報ネットワーク社会の健全な発展を実現するには、両者を以下の2つの技術によってシームレスに繋ぐことが必要であると考えられます（下図参照）。

【実世界対象のデジタル化(認識系)】 実世界 情報ネットワーク社会

物体の3次元形状計測、画像・音声・言語理解などのいわゆるパターン認識理解

【電子情報のメディア表現(生成系)】 情報ネット ワーク社会 実世界

仮想現実、コンピュータグラフィックス、音声合成、文章生成などのメディア表現

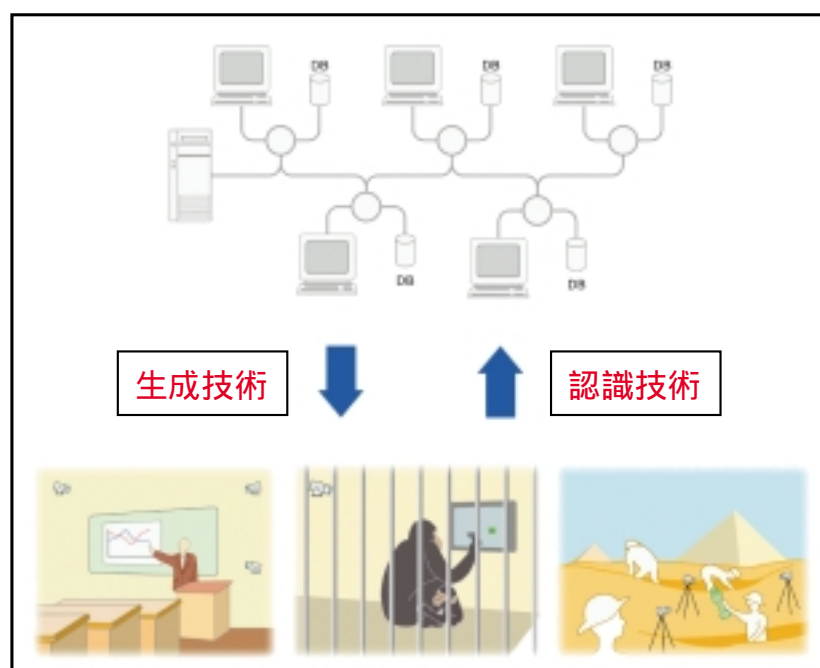
こうした指針を具体化するため本センターでは、ネットワークを介したスーパーコンピューティング

や学術情報データベースの高度利用に加え、教室・実験室・生態観測所・フィールド調査現場といった、生の学術情報が教授・検証・発見される物理的な場所を研究教育の重要な場として捉え、電子化された学術情報と研究教育の現場（実世界）を高度なネットワーク・マルチメディア情報処理技術によって統合した新たな研究教育環境を構築することを計画しています。

国立大学の制度をはじめ、わが国の社会、経済システムが大きく変わろうとしている現在、本センターとしまして、京都大学が目指す「エクセレントユニバーシティの深化」を実現するための確固たる情報基盤の確立と、社会的要請が高まっている「広く社会に開かれた大学」の実現に向けて絶え間ない努力を積み重ねていきたいと考えております。

（学術情報メディアセンター）

情報ネットワーク社会



講義室

生態観測室

フィールド調査現場

実世界(研究教育現場)

随想

歴史小説さまざま

名誉教授 山口 裕

わたしの専門は二十世紀の小説なのだが、定年後ドイツの歴史小説に興味を持ち、十九世紀にさかのぼって読みあさっている。これがなかなかおもしろい。



しかし、話の順序として、日本の歴史小説に簡単にふれておこう。司馬遼太郎が作品を発表していた頃には、新聞紙上でも歴史小説論が見られたものだが、歴史小説と言えばまず大衆小説が念頭に浮かぶようである。たとえば司馬の『竜馬がゆく』を例にあげれば、明治維新は坂本龍馬という天才がひとりでやり遂げたことになっている。そこには頻発した百姓一揆などは影も形もない。古いところでは吉川英治の『宮本武蔵』でも事情は似たようなものである。この小説は教養小説でもあって、やたらに強い主人公は、彼を慕うお通や朱実には構わず、ひたすら剣の奥義を極めようとする。日本にも島崎藤村の『夜明け前』のような歴史小説の傑作があるのだが、われわれの目につく所では歴史小説の観点から論じられることはない。ただし、司馬も吉川もロングセラーの書き手だけあって、文章のうまさには感服するほかはない。コミックなどに無縁なわれわれの世代の活字中毒人間は、読みだしたらやめられないのである。読後の感想はまた別なのだが。

ドイツの場合は、現在まで忘れられずに読まれているものに限れば、天才崇拜の傾向は見られない。十九世紀初頭のイギリスでスコットという作家が多くの歴史小説を書いて、フランス、ドイツ、イタリアなどに影響を与えた。フランス革命とナポレオン戦争を経て、民衆が自国の過去を正確に知りたがったという背景がある。スコットによれば、歴史小説の主人公は、架空の、平凡な人物でなければならない。そのような人物は、作者が自由に加工することが可能である。実在する有名な人物は小説の周縁部に登場するが、主人公たちの闘争を指導する役割が

終われば消えてしまう。その闘争は歴史の重要な転換期に材をとり、進歩的な側が勝つ。

十九世紀のドイツでは、歴史小説は大まかに言って、スコットを模倣したり、修正したりして成立している。歴史上の激動期が描かれるが、天才は登場しない。二十世紀になると、スコットの規範は消滅して、歴史上有名な大物が活躍することも珍しくない。唯物史観によるプレヒトの小説では、超大物のシーザーが無名時代に悪役で登場し、賄賂を受け取ったり、不正な金儲けの片棒をかついだりさえする。大衆小説との区別が理論的におこなわれてはいない。ドイツでも歴史を題材とした大衆小説が多すぎるのである。

このような歴史小説を十冊、二十冊と読んで、ドイツ独特の傾向を調べ、手法の変遷をたどる。ドイツでは一般に民衆が、従って社会が描けている作品がフランスなどくらべると少ない。しかし、それでも一つひとつの小説が提示する世界は魅力がある。歴史小説を読む余得の一つは、具体的な歴史の知識がつくことである。十四世紀のベルリン市議会の主導権争いとか、1806年から1813年ナポレオンのフランス軍に占領されたベルリンの事情とか、普通の歴史書には出ていないことがわかる。わたしの読書力だと三百ページくらいの作品を、メモを取りながら四日で読む。月曜、火曜に授業がないようにしてもらえば、週末と合わせて一週間で一冊読める。これらの作品や作品群について意見を述べて、ドイツでの議論に参加することはそれほど難しくはない。難しいのは、翻訳がないのに日本の読者にわからせることである。近況報告である拙文も、どれだけわかってもらえることだろうか。

(やまぐち ゆたか 元総合人間学部教授 平成9年退官、専門は文化構造論)

洛書

サクラサク

潮見 佳男



スギ花粉の襲来とともに、今年は桜の開花・満開が例年になく早まった。「梅に驚」ならぬ「桜に驚」状態であった。この事件は、全国紙の一面を飾るくらいだから、よほどめずらしいことだったのである

う。とりわけ、「桜のもとでの卒業式」・「緑の葉桜もまた一興の入学式」など、2人の子供の卒業式と入学式の重なったわが身にとっては、まさに実体験できる事件であった。いつもなら「今年の花」の名前がニュースにもなる造幣局の桜の通り抜けも、今年ばかりは開始初日に桜が散っていないかどうかのほうに懸念されて報道されていた。また、遅咲きの御室仁和寺の桜も、開花の時期は相当に早まったようである。

京大の桜として例外ではなかったようで、大学入試の合格発表のころには、本部構内の桜はほぼ満開に近い状態になった。ある程度の年代の方々にはなつかしい思い出であろうが、今となっては携帯電話に押されて見かけなくなった合格電報（ひょっとしたら、私の知らないところで、ほそぼそと続いているかもしれません）の常套句であった「サクラサク」を、まさに地で行くタイミングの良さであった（もっとも、その当時、私が京大受験のおりに頼んだ京大の某サークルの合格電報は、「ゴウカクキョウダイ」という、味も素っ気もないものであったが）。

法経本館西ウィング三階にある私の研究室の眼下にひろがる時計台と法学部の中庭の桜も、すでに3月半ばには見事に多くの花をつけ、年度末の仕事に疲れた目を癒すにうってつけの景観を見せてくれた。これから始まる時計台改修工事の準備作業として中庭一帯にめぐらされた間仕切りも、中庭の桜の風情を階上から満喫する上では、通行人の喧騒をさえぎる役割をはたしてくれて、満開の桜を独り占めするのに極めて好都合であった。

ところで、この中庭の桜の花は、東京の桜や私の

住む長岡京の桜と違い、早い時期の開花にもかかわらず非常に長持ちをした。入学式を過ぎ、前期の授業が開始された時期になっても、かなり散ったとはいえ、まだかなりの花弁を枝に残していた。「この桜たちにとっては、この場で花を咲かせることに暫しの別れを告げる気持ちがあったのかもしれない」などと言うと些かセンチメンタルであるが、今昔物語風に言うと、ヤマノカミが「桜の精」の意を汲んで開花の時期を早めさせ、また、花の散る時期を後伸ばしさせたとも感じさせるものであった。桜が散ったあと、人が立ち入らないために例年のように、踏みつけられず暫しそのままにされていた桜の絨毯を階上から見下したときの美しさ、葉桜の若緑とのコントラストも、私にとっては新たな発見であった。

ちなみに、少々前の話になるが、某大学で建物の拡張工事にともない、桜の季節を前にして、庭にある桜の古木を一本伐採してしまった。その大学の某学部教授会でこのことが報告されたときに、ひとりの教官が「花を咲かせてからにしてやればよかったものを。祟りがあるぞ」と呟かれたらしい。桜の木は魔力が何時ごろからこの地で語られるようになったのかは門外漢ゆえに不案内であるが、単に古木というだけでなく、それが桜の木であるがゆえの神秘性が語り継がれてきているのであろう。もとより、その後、その学部が祟られたのかどうかは、私には知るすべもない。

（しおみ よしお 法学研究科教授）

訃報

このたび、^{きよの}清野 ^{たけし}武名誉教授、^{おくしまけいじ}奥島啓式名誉教授、^{たけうちよしのり}武内義範名誉教授が逝去されました。

ここに、謹んで哀悼の意を表します。

以下に各名誉教授の略歴、業績等を紹介します。

清野 武 名誉教授



清野 武先生は、4月2日逝去された。享年87。

先生は、昭和12年京都帝国大学工学部電気工学科を卒業、同大学工学部講師、助教授を経て昭和22年教授に就任、鉱山学科物理探鉱学講座、電子工学科電気計測工学講座、電気工学第二学科計算機組織学講座を担任され、昭和45年情報工学科創設により、計算機ソフトウェア講座を担任された。昭和53年停年により退官され京都大学名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和41年より同42年まで文部省大学学術局科学官を務められ、また昭和49年から同53年まで京都大学大型計算機センター長として、大学の管理運営に貢献さ

れた。

本学退官後は、昭和53年から同60年まで大阪電気通信大学工学部教授を務められた。

先生は応用地球物理学、電磁気理論、数値解析学、計算機ソフトウェアに関する研究において優れた研究業績を残され、その発展に寄与されるとともに、電気工学、情報工学の分野において多大の貢献をされた。

また、電気学会副会長、情報処理学会会長の要職を歴任された。

これらの一連の研究教育活動、学会活動により、昭和62年11月勲二等瑞宝章を受けられた。

(大学院工学研究科、大学院情報学研究科)

奥島 啓式 名誉教授



奥島啓式先生は、4月11日逝去された。享年88。

先生は、昭和12年京都帝国大学工学部機械工学科を卒業、同大学講師、助教授を経て昭和25年教授に就任、製造工学講座を担任された。昭和52年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和44年より2年間評議員として、大学の管理運営に貢献された。

本学退官後は、昭和52年から同60年まで摂南大学工学部教授、副学長、学長を務められた。

先生は製造工学、中でも切削工学に関する研究において優れた研究業績を残され、その発展に寄与されるとともに、工作機械の分野において多大の貢献をされた。主な著書に『機械製作』、『工作機械』等がある。

また、精機学会、機械学会などにおいて、会長、副会長、支部長、理事などの要職を歴任された。

これら一連の研究教育活動、学会活動により、平成4年4月勲二等瑞宝章を受けられた。

(大学院工学研究科)

武内 義範 名誉教授



武内義範先生は、4月12日
逝去された。享年89。

先生は、昭和11年3月京都
帝国大学文学部哲学科を卒業
後、同大学院に進学し、その
後京都大学文学部講師、助教
授を経て、同34年同学部教授に就任、宗教学第一講
座を担当された。昭和51年停年により退官され、京
都大学名誉教授の称号を受けられた。

本学退官後は、昭和51年から同63年まで愛知学院
大学教授を務められた。

先生は、昭和16年に最初の著作『教行信証の哲学』
によって、浄土教思想の哲学的究明に新時代を開か
れた。その後、宗教哲学、とりわけ浄土教及び初期

仏教の研究において数多くの優れた業績を生み出し
て来られたが、その著作及び論文は、鋭い直観と深
い洞察に導かれつつ、同時に東西にわたる広い学識
に裏付けられており、斯界の最高水準を示すもの
として広く認められている。その長年にわたる研究成
果は、平成11年『武内義範著作集』全5巻にまとめ
られた。また、先生の著作や論文は、英語、ドイツ
語、イタリア語などに翻訳され、海外においても大
きな影響を与えている。

これら一連の功績により、昭和52年に紫綬褒章、
同60年4月に勲三等旭日中綬章を受けられ、また、
平成7年には日本学士院会員に選ばれた。

(大学院文学研究科)

日誌 2002.4.1 ~ 4.30

- | | |
|---|----------------|
| 4月2日 評議会 | 12日 同和・人権問題委員会 |
| 〃 大学評価委員会 | 17日 国際交流委員会 |
| 4日 学生部委員会 | 23日 大学評価委員会 |
| 8日 学部入学式 | 〃 将来構想検討委員会 |
| 〃 大学院入学式 | 24日 広報委員会 |
| 9日 医療技術短期学部入学式 | 〃 環境保全委員会 |
| 〃 名誉教授称号授与式 | 26日 附属図書館商議会 |
| 11日 ドイツ連邦共和国 Gisela KLANN-
DELIUS ベルリン自由大学副学長来学、
総長他と懇談 | |

公開講座

工学部公開講座

「人と環境にやさしい工学をめざして」

1. 日 時：7月27日(土) 13:30~16:20, 8月3日(土) 13:30~16:15
2. 場 所：工学部物理系校舎313号室

3. 演題及び講師：集中から分散へ 21世紀の電源のあり方
人間と風景 日本の伝統的な絵画や庭から学ぶこと
聖徳太子コンピュータをめざして 混合音の認識
環境と化学
- 助教授 垣本 直人
教 授 岡崎 甚幸
教 授 奥乃 博
教 授 大瀧幸一郎
4. 受 講 料：4,800円
5. 申 込 期 間：6月13日（木）～7月12日（金）
6. 問い合わせ先：工学部総務課庶務掛公開講座係 TEL 753-5005
詳細は工学部ホームページをご覧ください。
<http://www.kyogaku.kyoto-u.ac.jp/kyomu/koukai/koukaikoza.htm>

数理解析研究所数学入門公開講座

1. 日 時：8月5日（月）～8月8日（木） 各日10:30～16:00
2. 場 所：数理解析研究所4階大講演室
3. 演題及び講師：自己言及の理論と計算
積分の周期について
トーリックの世界
- 助教授 長谷川 真人
教 授 齋藤 恭司
助 手 藤野 修
4. 受 講 料：6,800円
5. 申 込 期 間：6月10日（月）～7月12日（金）
6. 問い合わせ先：数理解析研究所「数学入門公開講座」係 TEL 753-7202
詳細は数理解析研究所ホームページをご覧ください。
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/kenkyubu/kokai-koza/kokai-koza.html>

お知らせ

「総合体育館附設プール」の夏季利用

総合体育館附設プールを下記の期間・時間にかぎり、本学の学生及び教職員向けに開放されます。

- 1 期 間 7月1日（月）～8月30日（金）
（都合により利用できない日があります。）
- 2 時 間 正午～午後2時
- 3 対 象 本学の学生及び教職員（学生証・職員証を呈示）
- 4 問い合わせ先 学生部学生課（西部構内総合体育館内、電話学内 2590）
- 5 そ の 他 利用にあたっては、必ず水泳帽を着用願います。

「白馬山の家」の夏季開設

本学の学生及び教職員の厚生施設として、「白馬山の家」を、今年については下記のとおり開設しますので、ご利用ください。

この「山の家」は、中部山岳国立公園白馬山麓^{つがいけ}の梅池高原にあり、雄大な北アルプスの峰々に囲まれ、登山や避暑などに最適です。

建物は山小屋風の木造地上2階地下1階建てで、間取りは1階が食堂兼談話室、2階が寝室、地階が浴室、乾燥室からなっています。

1. 名 称 京都大学^{はくば}白馬山の家

2. 所 在 地 長野県北安曇郡^{あずみ おたり}小谷村大字千国字柳久保乙869の2

(交通機関)

JR大糸線「白馬大池駅」下車、松本電鉄バス「梅池高原」下車、徒歩約20分

3. 開設期間 7月10日(水)～8月30日(金)

4. 収容人員 26名

5. 所要経費 1人1泊 使用料120円、ほかに食費等実費

6. 申し込み及び利用に関する詳細

体育会事務室(西部構内総合体育館内、電話学内 2574)に照会してください。

「白浜海の家」の利用

本学の学生及び教職員の厚生施設として、「白浜海の家」を、下記のとおり1年を通じて開設していますので、ご利用ください。

この施設は、三段壁をはじめ千畳敷・円月島など風光明媚な南紀白浜にあり、夏は海水浴に最適のところです。

また、「海の家」のある理学研究科附属瀬戸臨海実験所の構内には、500種以上の海の生物を集めた「京大白浜水族館」があり、近くには「南方熊楠記念館」もあります。(いずれも有料)

1. 名 称 京都大学白浜海の家

2. 所 在 地 和歌山県西牟婁郡^{むろ}白浜町 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所構内

(交通機関)

JR紀勢本線「白浜駅」下車、明光バス「白浜バスセンター」行きに乗車、終点で「臨海」行きバスに乗り換えて、「臨海」で下車。

3. 開設期間 通年開設

4. 室 数 和室3室

5. 収容人員 30名

6. 所要経費 1人1泊 使用料130円、ほかに食費等実費

7. 申し込み及び利用に関する詳細

体育会事務室(西部構内総合体育館内、電話学内 2574)に照会してください。

シネマ&CDコンサート

附属図書館では、3階AVホールで2時から、第1木曜日は映画会、第2から4木曜日はCDコンサートを開催しています。

映画会は「シネマ・コレクション」というタイトルで映画館、レンタルビデオ店では、なかなかお目にかかれない質の良い古典名画を選んで上映しています。

CDコンサートは2年前に寄贈された全集もののコレクションである片田文庫の中のCDレコード6,000枚の中から厳選して公開しています。

勉強の合間の気分転換になるなど感想が寄せられています。利用者のみなさまの多数の参加をよろしくお願いいたします。

なお、附属図書館ホームページでも案内しております。<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp>

上映予定作品

7月4日	映画の父グリフィス「イントレランス」
8月1日	キャロル・リード「第三の男」
9月5日	ジョン・フォード「アイアン・ホース」
10月3日	オーソン・ウエルズ「市民ケーン」

編集後記

「広報活動」と「情報公開」とはどう違うのであろうか。全学の広報委員会での議論を聞いていて、ふと思った。インターネットで利用できる大辞林によると、広報とは「事業内容や活動状況を一般の人に広く知らせ、理解を求めること。また、その知らせ。」とある。では、「情報公開」とはどこが違うのであろうか。議論を聞いてみると、どうも「広報」とは自己に都合の良いことを宣伝すること、その活動、と理解し、「情報公開」とは自己に不都合なことでも、他から求められた場合にはしぶしぶ教えること、と理解しているふしがある。

昭和40年発行の岩波の国語辞典で「広報」の項目をみると、「一般に広く知らせること。また、その知らせ。【活動】」とある。大辞林との決定的違いは「理解を求めること」という文言が抜けていることであろう。最近大学に求められている「アカウンタビリティ」との関連で興味深い。ん？「アカウンタビリティ」って何だ。辞書に載っていない！（河野記）

〔訂正〕

前号（568）に掲載しました「部局長の交替等」のウイルス研究所長の記事（1263ページ）の中で、「伊藤維昭ウイルス研究所長の任期満了に伴う」は、「辞任に伴う」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。